



### 街灯設置費等補助事業の拡充

市は、市民の通行の安全を図るため、街灯の設置等を行う町内会等に対し、補助金を交付しています。詳しくは、市民部市民協働推進課地域活動係(☎ 626-7500)までお問い合わせください。

- 1 令和5年度計画書 提出期限  
令和4年9月30日(金)
  - 2 補助対象
    - 灯具の購入および設置(最大3灯まで)
    - 柱の交換、修繕、撤去
- ※柱の撤去の補助額の上限が今年度から  
**35,000円 → 70,000円**になりました。



町内会等の所有する、老朽化した自立柱などが、補助対象です。

### みんなで支え合おう町内会・自治会

お互いの可能性を狭める『無意識の偏見』を意識しよう

日常生活の中で、「リーダーは男性が向いている」「普通、お茶を出すのは女性でしょ」などと思うことはありませんか？

これは『無意識の偏見』といい、自分の育った環境や経験から、いつの間にか刷り込まれた価値観や先入観、思い込みのことをいいます。このこと自体は悪いことではなく、多かれ少なかれ誰もがもっているものです。しかし、「自分のモノの見方」だけで物事を判断したり、決めたりすることは、互いの能力や可能性を狭めてしまうかもしれません。

日常の中の「当たり前」や「普通」を改めて考えてみませんか？新しいアイデアや関係性が生まれるかもしれませんよ。

性別や年齢に関わらず、みんなで支え合う、より良い地域社会にしていきたいと思います。

出前講座を随時実施していますので、興味のある方は下記担当へお問い合わせください。

担当：市民部男女共同参画推進室 ☎ 626-7525



### 市民協働推進センターを知ろう！ 河南公民館編



町内会・自治会、NPO法人等の地域活動や市民協働を支援するために設置している市民協働推進センターの中から、今回は、平成27年度よりモデル館を経て設置された河南公民館を紹介します！



河南公民館では、1階に市民協働推進センター用のフリースペース(写真左)を設け、地域活動や市民協働に関する資料や助成金情報などを常に配架しています。また、町内会・自治会、NPO法人等の地域活動や市民協働に関する相談での利用に限らず、地域住民同士の交流の場としての利用にも提供しています。

河南公民館では、地域住民と公民館職員の交流を通じて、一緒に地域について知ることができる各種講座やイベントが企画されています。この機会にぜひ、河南公民館を訪れてみてください！

#### イベント情報



令和4年度河南公民館地域連携事業として、地域住民同士が交流できる場所「もりげきサロン」が開催されています。人と人とのつながりを持ちづらい昨今、何げないおしゃべりや折り紙、裁縫などの手作業を通して交流し、日々の張り合いにしてみたいと実施しているものです。季節の行事や作品展示なども行っています。概ね毎週火曜日、3階美術工芸室にて開催中。

回																			
覧																			

つながる **わ** Vol.85

発行：盛岡市市民部市民協働推進課  
〒020-8530 盛岡市内丸12-2  
TEL：019-626-7535(直通)  
(令和4年8月発行)



## まちの歴史文化を知ろう

### ～城南地区散策会～



6月29日(水)、城南地区福祉推進会・城南地区地域づくり委員会(泉澤力会長)が、第1回文化講座「散策会～城南地区(奥州街道コース)めぐり～」を開催しました。総勢27名が参加し、住吉神社を出発し、盛岡八幡宮、松尾神社、らんかん児童公園までの散策を楽しみました。各散策スポットでは、講師の花田陽子氏による盛岡弁での解説があり、参加者はメモを取ったり写真を撮ったりと、熱心に聞き入っていました。今回のイベントを通じ、参加者は身近な地域の歴史に親しみ、地域への愛着を深める機会となりました。

当イベントは、同会が“古都の文化のいきづく

まちづくり”をテーマに掲げ、令和元年度から継続して開催しているものです。

城南地区は、文教地区として発展してきた地域であるとともに、神社や寺などの歴史的文化遺産が豊富であることから、その魅力を再発見し広く発信する様々な取組を行っています。例えば、歴史文化マップの作成、花田陽子氏の昔語りをまとめた冊子「城南地区めぐり」(その1・2・3)の発行、散策コースへの案内板の設置などを行ってきました。6月からは新たにホームページを公開し、散策コースの紹介や地域の歴史を解説する動画を掲載しています。



# 市民協働推進事業の採択事業が決定！

市は、市民による公共の利益の増進を目的とした活動を支援し、協働によるまちづくりを推進するため、市民活動団体等から提案された事業に補助金を交付する「市民協働推進事業」を実施しています。

5月27日（金）、令和4年度市民協働推進事業選考委員会（濱田秀樹委員長）が開催され、選考の結果、11事業が採択されましたので、その概要を紹介します。



【選考委員会の様子】

## テーマ選定型事業

市が社会的・地域的な課題と考えるテーマに基づき、市民活動団体等からの企画提案により、市民活動団体等と市が協働することで、より高い効果が期待できる事業。

協働事業名	提案団体	補助額	協働担当課	事業概要
「高校生×盛岡の商店街×〇〇＝地域への愛着」事業	ドリーム・シード・プロジェクト	50万円	都市戦略室	高校生を対象としたワークショップの開催や、盛岡市産業祭りで高校生×商店街で商品販売を行うことをとおして、高校生が商店街とつながる機会をつくり、地域への愛郷心を育みます。
地縁団体課題解決への意識醸成サポート事業 ～「地縁組織」×「志縁組織」で地域を元気に～	(特非) いわてNPOフォーラム21	50万円	市民協働推進課	地縁団体（町内会・自治会等）の運営を持続可能なものとするため、自ら課題解決に取り組む際に行うワークショップの開催方法などを伴走支援します。
もりおか結婚支援ボランティア情報交換会・マッチングサポート事業	(一社) 日本結婚支援協会	50万円	子ども青少年課	結婚を真剣に考えている男女を対象に、相談やプロフィール登録といったマッチング支援を実施することで、お見合いによる出会いの機会を提供し、地方都市における人口減少及び少子化解消につなげます。
「性の多様性を知る・学ぶ・考える・行動する」事業	いわてレインボーマーチ	10万円	男女共同参画推進室	性の多様性について広く認知してもらうため、レインボーグッズの配布、パンフレット・ポスターの配布、講演会を実施し、誰もが自分らしく生きられる社会の実現につなげます。

## 施設等活用事業

まちづくり施設整備事業（H24～H26年度実施）で整備された6施設のいずれかを活用し、施設等の利用活性化や賑わいの創出など、まちづくりに資する事業。

協働事業名	提案団体	補助額	活用施設	事業概要
すばらしき音楽ギターコンサート in 町家事業	(特非) プロ・ハンド岩手	10万円	三岳亭	町家という非日常空間でのギターの演奏に心を癒されたり、創造力を働かせて朗読を聴くなどの経験をとおして、町家界隈の魅力を伝えるとともに、子供たちの豊かな心や感受性を育みます。

## 協働事業

市が実施していない公益的な事業で、市民活動団体等と市が協働することで、より高い効果が期待できる事業。

協働事業名	提案団体	補助額	協働担当課	事業概要
「松園リボーン：住民意見集約事業」これからの松園はどんな街に～みんなで考えよう団地再生・まちづくり～	MATUZONO Re-bornプロジェクト研究会	50万円	都市計画課	国の「ハンズオン支援」を受けながら、市や企業、NPO等と協働して、団地再生に向けたエリアマネジメント（セミナーの開催等）を実施します。
生徒に夢と感動を与え、人生の生き方に学ぶ「アラスカフォトライブ」青少年健全育成事業	(特非) キッツキネットワーク岩手	35万8千円	学校教育課	アラスカ等で活躍する写真家松本紀生氏を招聘し、中学生や市民を対象に同氏の作品紹介や人生観についての講演を実施することで、道徳心や人間性を育む契機とし、青少年の健全育成を図ります。
だんご石プロジェクト事業	杜陵地区福祉推進会児童健全育成支援基金	3万3千円	河川課	「盛岡らしい景観の維持」と「豪雨時の危険を少なくすること」を目的として、中津川の河川敷に繁茂する樹木の伐採・草刈活動を実施します。
中学校部活の地域移行に伴う運動の場の創設を目指す総合型地域スポーツクラブとしての対応事業	(特非) いわてとーぶスポーツクラブ	36万円	スポーツ推進課	令和5年度から中学校の週末のクラブ活動が地域に移行されることに伴い、総合型地域スポーツクラブとして、スポーツの指導のみならず、指導体制の構築・学校との連携を図ります。
私たちは「買われた」展盛岡	Compass	50万円	男女共同参画推進室	売春・性暴力の実態、少女たちの思いを写真展・講演会の開催を通し、社会のあり方や構造について問い、考えてもらう機会を作り、岩手県や盛岡市で困難を抱える少女たちが搾取や暴力にさらされない社会の実現につなげます。
森荘巳池遺作・遺品展事業	(特非) いわてアートサポートセンター	14万9千円	文化国際課	盛岡市民の共有財産として価値を有する森荘巳池氏の遺作・遺品の展示会を開催することで、本市の文学文化史研究、先人顕彰、観光の推進などを図ります。

## 力を合わせて 楽しく安全な河原に整備 ～だんご石プロジェクト事業～

6月26日（日）、中津川河川敷にて「だんご石プロジェクト」事業が行われました。



当日は、主催団体・協働担当課のほか、地域の有志、国土交通省、NPO法人山仕事くらぶ、NPO法人緑の相談室など、複数の団体の協働により活動が行われました。

約20年ほど前の河川敷は、今ほど草木が茂っておらず、多くの子どもたちが川の中ほどにある「だんご石」周辺で水遊びをしていましたが、近年は草木が生い茂り見えづらくなっています。さらに、

樹木が大水の際に流木となり橋げたで水を堰き止め（橋げたのダム化）、周辺が浸水する原因となることも懸念されるため、「あの樹木をなんとかしたい」という思いの人が集まり、プロジェクトが発足しました。

本事業では、盛岡城跡公園側河川敷の整備が行われましたが、今後も継続して、周辺の環境整備を行うことが予定されています。